

パルシステム共済連通信

～びいあらいぶ～

発行元
パルシステム共済生活協同組合連合会 管理部

2018年

9月2回号

次回は11月1回です
(10/22～26配付)
特集テーマ
「がんと就労」

「たすけあい活動助成金」は あなたの地域のパルシステムで 活用されています

パルシステム共済連は「たすけあい活動助成金」制度を設け、
組合員が実施している各地のさまざまな活動やイベントをサポートしています。
たとえば、こんな催しも。あなたも参加してみませんか。

こんな催しがあります！

パルシステム福島

みんなのいばしょ
～太極拳の基礎知識を
学びましょう～

パルシステム福島では、「たすけあい活動助成金」を活用した多世代交流サロン「みんなのいばしょ」を月に1回のペースで実施しています。各回の活動内容やテーマは、運動や調理、健康についての学習などさまざま。6月には講師を招いて太極拳の基本的な動きを学び、約30名の参加者全員でからだを動かしました。初めは先生の動きをまねて追いかけていた参加者も、4つの形を教わり繰り返し練習するうちに、動きがだんだんめらめらに。激しい動きはないものの、しっかりとからだを動かした充実感のある教室となりました。



組合員の声

気になるテーマや興味のある内容のときは、だいたい参加しています。普段運動をする機会がありませんので、やっぱりからだを動かす内容に参加することが多いかな。今回の「太極拳」のように初体験の内容でも、普段利用しているパルシステムの催しだと身近だし、敷居が低くて参加しやすいです。共済によるケガや病気をしたときのサポートだけでなく、パルシステムではケガや病気を“しない”ための活動があることは、とてもよいことだと感じています。

パルシステム福島
組合員
会田良子さん(右)
中崎恵子さん(左)



こんな催しがあります！

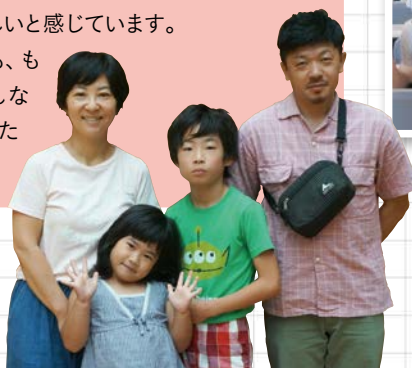
パルシステム群馬

親子で参加できる学習会
～睡眠のふしぎ～

パルシステム群馬では、たすけあい活動助成金を活用して、夏休みを控えた6月末の土曜に親子で参加できる講演会「睡眠のふしぎ」を開催しました。ゲームやスマホ、テレビなど、楽しいことが多くて寝る時間が遅くなる子どもが多いことを受け、睡眠不足はどうしていけないのか、寝るのが遅いと成長にどのような影響があるのか等、講師がクイズや寸劇を交えて子どもにもわかりやすく説明。講師の質問に盛んに手を挙げて答える子どもたちや、親子でクイズの答えを考える姿も見られ、明るくにぎやかな講演会でした。

組合員の声

今日はカタログと一緒に届いたチラシを見て参加しました。
お兄ちゃんは最近寝るのが遅くなってきていて、早く寝るように言っても、やはりなかなか聞いてくれなくて…。こういった会で他の方からわかりやすく話してもらえると、少しは違うかな、と思って(笑)
パルシステムは、毎日の食品を購入する場としてだけでなく、買い物することや参加することで社会をよくする一端を担えるところが素晴らしいと感じています。
これからも、もっといろんなことを知りたいですね。



パルシステム群馬
組合員(右から)
長井英昭さん
剣三朗くん
恵衣子ちゃん
文子さん



共済の掛金を、もっと私たちのために。

「たすけあい活動助成金」

パルシステム共済連は、各地域生協の組合員理事と職員による「たすけあい活動委員会」を理事会の下に設置し、「たすけあい活動助成金」制度を設けています。たすけあい活動委員会で公平な審査を行いながら助成する活動や金額を決定し、組合員からお預かりしたCO・OP共済《たすけあい》の掛金から生まれる剰余金の一部を、助成金として組合員の活動に有効活用しています。なぜ、このような取り組みを行っているのでしょうか。

生協の根底にある「助け合う」という考え方

「自助・共助・公助」という言葉を知っていますか？

自助＝自分で自分の身を守る
共助＝友人・知人や地域などの仲間どうして助け合う
公助＝行政による公的な支援や制度

生協（生活協同組合）は、この中の組合員どうして助け合う「共助」の考えを形にした組織です。

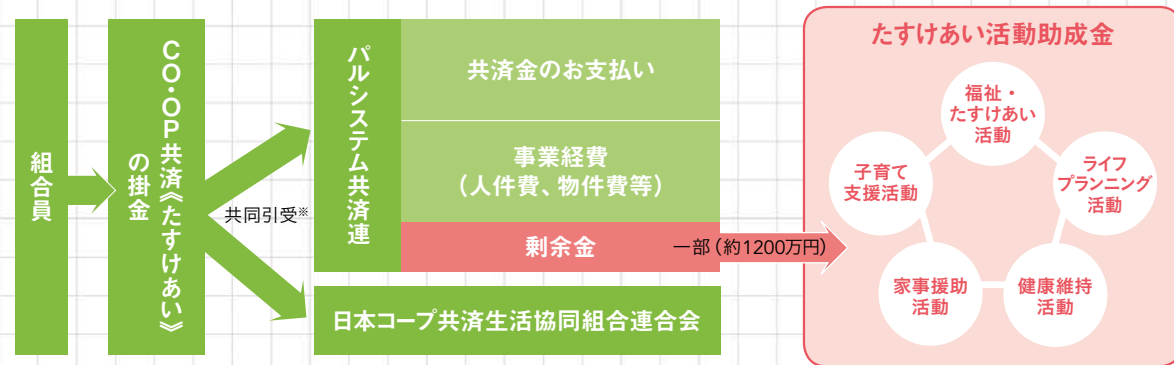
パルシステムでは組合員が望む安心・安全な食材や生活用品を協同の力（利用等）を集結してお届けしていますが、パルシステム共済連も、組合員が困ったときに互いに助け合う「共助」の考えから生まれた保障の仕組みである「共済」や、パルシステムの組合員だから保険料を割安に利用できる「団体保険」を取り扱っています。

リスクに備えるだけでなく、リスクを減らすために

また、共済や保険といった保障商品でケガや病気など「万が一」のリスクに金銭面で備えることと並行して、普段のくらしのなかでケガや病気を未然に防ぐための知識や方法を学び、リスク自体を減らすことも大切だと考えています。そのような考えのもと、「健康維持活動」としてケガや病気の予防・早期発見のための学習会、「ライフプランニング活動」として家計にまつわる各種制度の学習会なども助成金によって積極的に支援しています。

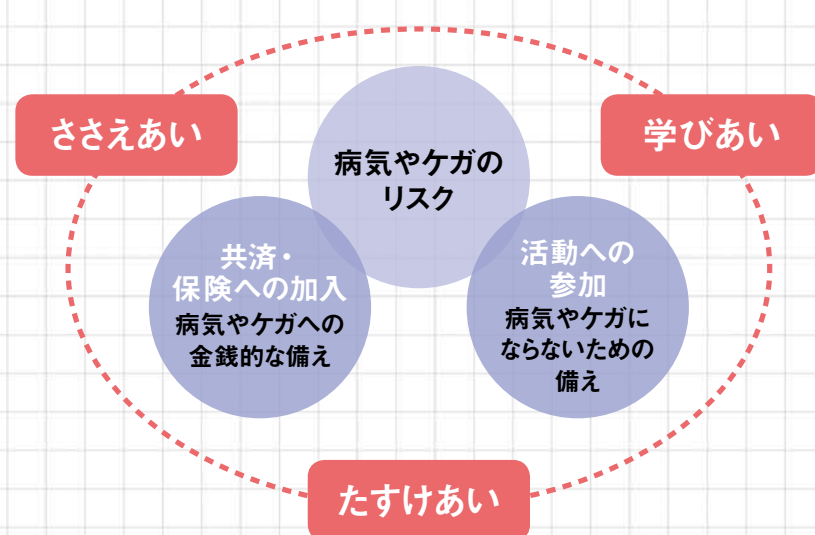
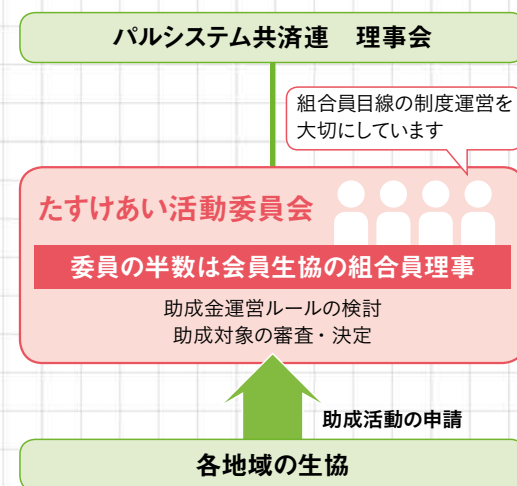
地域に「助け合う」仕組みを作りたい

「たすけあい活動助成金」のしくみ



※「共同引受」…複数の元受団体（共済者）が、共同して共済契約を引受ける事をいいます。再保険や再共済とは異なり、各団体は共済契約者に対し、それぞれの引受割合（額）に応じた共済責任を単独個別に持ちます。

パルシステム共済連は、組合員の「万が一」に備える共済や保険を取り扱うとともに、自助努力だけでなく地域でお互いに支えあう「共助」の仕組みづくりにも寄与したいと考えています。そのひとつが、組合員が地域で行う活動をサポートする、「たすけあい活動助成金」制度です。高齢化、核家族化など、地域での繋がりが希薄になってきているなか、お預かりした共済の掛金から生まれる剰余金の一部を活用し、「居場所づくり」や「子育て支援」といった組合員活動を支援しています。2011年度から2017年度までの7年間で合計約7,045万円の助成を行いました。



REPORT

2017年度たすけあい活動助成金のまとめ

「活動数」は審査時に申請された活動数であり、一つの活動でテーマや開催エリアを分けて複数回実施されることもあります。

生協名	活動数(件)	延べ参加者数(名)※
パルシステム東京	4	994
パルシステム神奈川ゆめコープ	12	918
パルシステム千葉	4	1,379
パルシステム埼玉	12	520
パルシステム茨城	10	2,154
パルシステム山梨	7	538
パルシステム群馬	5	394
パルシステム福島	5	499
パルシステム静岡	5	145
合計	64	7,541

※パルシステムの組合員だけでなく、広く地域住民の方にもご参加いただいています。

「たすけあい活動助成金」 2017年度のご報告

2017年度は64件の活動に対して、合計約961万円の助成を行いました。そして約7,500名の方が活動に参加されました。

2017年度に実施した活動の一部をご紹介します。

パルシステム千葉 子育て応援フェスタ



約1,200名が参加。人形劇やリトミックの発表、子育て相談、おさがり交換会など、さまざまな企画で盛り上がりしました。

パルシステム山梨 高齢者のためのスマイルサロン

県内各所で高齢者が集うサロンを開設。ギター奏者を招いて歌を歌ったり、体操をしたりと、和気あいあいとした時間を過ごしました。



パルシステム静岡 アレルギー講演会 「こんな時どうする？ アレルギーっ子の生活」



識者によるお話しを通じて、アトピー・アレルギーっ子の保護者が日々の暮らしで感じている不安や疑問を共有し、ともに考えました。



保障のこと、備えのこと

情報が
いっぱい！

パルシステム共済連ホームページ 「家族の健康レシピ」

パルシステム共済連のホームページでは、毎月、季節に合わせた“健康”に関するコラムと、管理栄養士のオススメするレシピを紹介しています。9月は「薬膳で筋力アップ」がテーマ。バックナンバーも見られますので、ぜひチェックしてみてください。



パルシステム 健康・おうえんなび

検索

